

目次

リハビリ現場の光と闇
この業界に救いはあるか

まえがき 2

第1章 崩れる心のバランス

11

1 「患者さんが良くならない」 13

■ なかなか良くならない 13

■ 患者さんが死んでいく 14

■ 病気指向 17

■ 悪いところばかり目がいく 18

2 「哲学がない」 20

第2章 悩みの果てに

- リハビリのコンセプト 20
- 理想と現実のギャップ 22

1 「カイロプラクティックとの出会い」…………… 28

- カイロプラクティックとの出会い 28

- 技を習得する喜び 31

- 健康指向 32

- カイロプラクターたち 34

2 「日本のカイロプラクティックの問題点」…………… 37

- カイロプラクティックの現状 37

- 国際基準のカイロプラクティック 40

- 職業哲学の重要性 51

第3章 リハビリの先生の闇

53

■ ハラスメント 54

■ 患者様と呼んでモンスター化 70

■ 先生と呼ばれて勘違い 71

■ 身体とお金を預かること 71

■ 他人の人生をその手に預かる 72

第4章 臨床実習における最悪な結果

75

■ 理学療法臨床実習の問題点 78

1 「家族の絆」 88

■ 痴呆の奥さんを支えるご主人 88

■ 私が憧れる企業会長 90

■ 再婚夫婦の性 92

■ 人殺し！ と怒鳴った奥さん 94

2 「人生の意味を変える」 98

■ コルセットを外さない女性 98

■ 堕胎を後悔してる主婦 100

■ 肩が痛いお母さん 102

■ 高校生ラグーマン 104

1 「人生の目的」	108
■ 人生の目的	108
■ 自分探し	109
■ 生死解決	111
■ 他者貢献	112
2 「人生哲学の重要性」	113
■ 人生哲学の重要性	113
■ リハビリの先生の仕事とは	114
■ 科学的思考と哲学的思考の違い	115
■ 哲学の歴史	116
■ あり方	121
■ あとがき	123
■ 参考文献	125